

## 大芦小学校の統合に関する説明会について

令和8年1月11日(日) 9時30分～10時30分

### 【参加者数】

・11名

### 【出席者】

(教育部)棚澤副部長

(教育総務課)新井主幹 ・ 堀主任

(学務課)小坂谷主任

### 【教育委員会説明】

- 令和9年度に予定していた学校統合は延期とした。
- 児童数の減少や複式学級の可能性を踏まえ、これまで令和9年度の統合を目指していた。しかし、準備期間が過去の統合事例と比べて短いこと、PTA アンケートで反対、どちらかといえば反対の意見が多いことを考慮し、市として延期を決定。
- 今後、教育委員会では令和10年度の統合を目指して取り組む。

### 【主な意見とその回答】

- (保護者)統合年度の延期に伴い、意向確認の回答を変更できるか。  
⇒(教育委員会)変更可能。大芦小学校在校生・未就学児については、変更する場合、1月22日(木)までに回答をお願いする。
- (保護者)統合を延期した理由として、在校生保護者の反対が多かったことも理由の一つとして挙げているが、今後、統合に合意してもらうための働きかけは。  
⇒(教育総務課)不明点が多く賛成できないという意見があるため、説明会を継続して実施。  
また、統合の決定前ではあるが、令和8年度から両校の校長先生同士で相談し、交流事業を計画している。子どもたちの不安解消を図る。
- (保護者)交流事業の予定日は。  
⇒(教育委員会)年度明けから、具体的な内容を決めていく。2学期以降の実施を予定。
- (保護者)2学期は運動会などがあって教職員も忙しいことから、夏休みまでの実施を希望。
- (保護者)交流事業後に学校を移ることは可能か。  
⇒(教育委員会)可能。

- (保護者)学校を移った後、元の学校に戻ることは可能か。  
⇒(教育総務課)可能。
- (保護者)令和10年度を目指して統合を進めていくという話ではあったが、令和10年度の統合は確定か。  
⇒(教育総務課)確定ではない。令和11年度以降になる可能性もある。また、決定時期も未定。  
反対意見が多いというのも延期の理由の一つとお話したが、反対が多いからといって、統合を見送り続けるわけではない。学校運営の状況などを踏まえて、総合的に判断をしていくことになる。
- (保護者)複式学級はいつから。  
⇒(教育総務課)令和9年度に2年生(6名)と3年生(10名)で編成見込み。
- (保護者)複式学級の基準を満たす児童数になった場合、必ず実施するのか。それとも市で教員を配置すれば、単式学級の維持が可能か。  
⇒(教育総務課)過去に他自治体の複式学級の視察を行った。管理職も授業に入るなど、国語・算数・理科・社会などの授業は単式で授業を実施。一方で、体育・道徳・書写のような授業では複式学級にて授業を実施。  
通学区域の弾力化を検討した鴻巣市立小・中学校通学区域審議会からの答申でも「両校の児童にとって適切な教育環境が維持されるよう対応が図られることを望む」といったことが付帯意見にて述べられている。他自治体の事例等を参考に、令和9年度の複式学級に備え、準備を進める。
- (保護者)大芦小学校の児童の学力等に遅れがでないよう、丁寧な対応を望む。
- (保護者)令和9年度に複式学級になるということを、当事者だけでなく、保護者全体に周知するべきではないか。自分たちの子どもを中心に考えてしまうことは仕方のないことだが、低学年や未就学児が複式学級という課題を抱えている事情を高学年も考慮してもらいたい。  
低学年の保護者の中には、早く統合してほしいと考えている保護者も多くいる。  
⇒(教育総務課)意見交換会等の内容については、ホームページへの議事録の公開などで伝えているが、興味のある方にしか伝わらないのが実情かと感じてはいるが、引き続き周知を図っていく。
- (保護者)6年生で統合した場合、卒業アルバムはどのように作成されるのか。  
⇒確認して回答する。

※確認結果

学校の閉校に向けて閉校記念誌を作成している。学年ごとに学年のページを設けているので、それまでの写真は記念誌に掲載している。

令和6年度鴻巣中央小学校の卒業アルバムには、旧常光小学校の児童が林間学校(5年生時)に行った際の写真も掲載している。なお、卒業アルバムには1~4年生の時の写真は、閉校するしないに関係なく、あまり使用されない。

- (保護者)大芦小学校のように静かな環境を好んでいる児童もいる。静かに過ごしたいと考えている児童が安心して過ごせる環境を吹上小学校にも用意してほしい。ケアの方法が決まった段階で報告の機会を設けてほしい。
- (保護者)大芦小学校の跡地活用については何か決まっているのか。  
⇒現在、バスケットボールや野球などの団体が学校開放にて利用している。統合後も引き続き利用したいという意見をいただいている。  
笠原小学校の統合の際は、統合が決まっていないのに、跡地活用の検討はできないといった意見があったことから、統合後に検討が行われている。  
小谷小学校の跡地活用については、統合前の意見交換会等の時から不登校関係の施設として活用したいという意見があり、閉校後すぐに教育支援センターとして活用されている。  
大芦小学校についても、小谷小学校同様、学校の統合と並行して意見を募りながら検討していきたい。
- (保護者)鴻巣市での跡地活用の事例や大芦小学校の跡地活用に関してこれまで出た意見を示すことで、地域の方の反対がやわらぐのではないか。
- (保護者)跡地活用は統合準備委員会で決定していくのか。  
⇒跡地に関する意見は、現在も募集しており、これまでも広報等にて意見を募集している。今後も引き続き募っていく。いただいた意見の対応等について庁内で協議し、統合準備委員会にて保護者や地域の方にも共有する。
- (保護者)跡地については、子どもたちも不安に思っている。子どもたちに開放する時間を設けてほしい。  
⇒小谷小学校では、現在も地域の方が芝生を管理し、良好の状態を保っている。そのため、小谷小学校の児童だけではなく、吹上小学校の児童も遊びに来ており、児童が遊べる環境が維持されている。
- (保護者)大芦小学校で行われている、地域との活動(米作りなど)は継続を希望する。
- (保護者)吹上小学校区の吹上富士見1・2・4丁目の保護者にも大芦小学校の閉校が延期になった旨を周知してほしい。  
⇒周知する。  
※令和8年1月14日付けで通知済み
- 通学区域の弾力化で学校を移った場合、放課後児童クラブはどうなるのか。  
⇒弾力化で学校を移る児童がいる可能性は担当部署にも報告している。すでに来年度の申し込みをしている方についても、移った学校の放課後児童クラブに通うことができる。

- (保護者)大芦小学校の閉校後、避難所はどうか。  
⇒現状、鴻巣市では、建物を解体した場合は避難所ではなくなってしまうが、建物が残る限り避難所となっている。過去に閉校した笠原小学校、常光小学校、小谷小学校も引き続き避難所に指定されている。  
しかし、大芦小学校については土手から近く、土手が決壊した場合は1階部分が浸水される。電気設備は1階に集約されていることから、電気が使えない施設に避難することになるため、浸水地域にある場所ではなく、土手から離れた場所に事前避難したほうが良いといった意見もある。
- (保護者)6年生になる年度に学校の統合が行われた児童の保護者の話を聞きたい。話を聞いて、安心することができれば、統合に前向きな気持ちになる保護者もいるのではないか。  
⇒検討する。